

2015年度 国際学部国際文化(IC)学科/ 国際文化学部 短期留学実施概要

国際学部・国際文化学部では、短期留学制度が充実しています。短期留学制度へ参加の方法は大きく分けて2つです。学部・コース・教員が企画した研修に参加する方法と、語学学校や研修機関を各自で見つけて計画を立て、龍谷大学に申請する方法(自己応募)です。興味のある学生は、短期留学説明会で制度を理解した上、行き先別説明会に参加しましょう。

短期留学説明会

日時： 4月13日(月) 12:25~13:05
場所： 和顔館 B110

※行き先別説明会の日程は、「留学 week」のチラシに記載しています。

※国際学部グローバルスタディーズ学科(GS)対象の説明会は別途 **5/7(木)開催**されます。

短期留学(学部企画)

- 申込方法：「短期留学申込書と誓約書」を提出
※上記書類は国際(文化)学部ホームページよりダウンロード可能
- 提出期間：**2015年5月11日(月)~5月29日(金) 17:15**
- 提出先：国際学部・国際文化学部 留学サポートデスク
(和顔館 1階グローバル教育推進センター内)
- 受付方法：**先着順** 申込期間内でも、定員に達し次第受付を終了します。

※春期(2016年2月)実施プログラムのオーストラリア(メルボルン)は、上記申込期間にて受付を行います。

それ以外の春期プログラムについては秋の留学 WEEK で別途募集期間など説明を行います。

【参加費用について】

空港税や燃油サーチャージが含まれるか、別途必要(約2万円~6万円)か、表記に注意。
※ 為替レート等により変動します

※先着順について

- 以下の条件のもと、先着順とします。
- ・ 申込書を不備なく作成する
 - ・ 出発前のオリエンテーションに必ず参加する
 - ・ 大学の求める事項を遵守する
 - ・ 期限内に各種書類を提出する

短期留学(学部企画) 手続きの流れ

~出発前~

- ①学部企画参加の申込み
- ②海外旅行保険に加入
- ③出発前オリエンテーションへ参加 複数回開催されます。参加必須のこと。

~帰国後~

④下記書類を帰国後10日以内に提出

- ・ 修了証(写) ※語学留学のみ・レポート(所定の様式で作成)・アンケート
- ⑤単位認定審査 提出書類を基に審査されます。
 - ⑥単位認定 帰国直後の成績配布時ではなく翌セメスターの成績表に反映されます。

夏期実施プログラム

【学部企画】

（※国際文化学部/国際学部(IC 学科生)対象）



カナダ・バンクーバー 短期語学研修



《プログラム説明会：2015年5月8日(金)

昼休み 12:25-13:05 和顔館 B202 教室》

学校名： International language of Academy of Canada (アイラック・ILAC)

日程： 2015年8月7日(金) ~ 2015年8月31日(月) 25日間

授業時間： 67.5時間(アクティビティを除く)

募集人数： 10名以上~30名以内 (実施可能人数10名)

参加費用： 379,000円(相部屋) 389,000円(個室)

※別途、燃油SC要(2015.2.27現在28,000円程度(往復))

認定単位： 【国際文化学部生】3単位【外国語(海外研修)】

【国際学部国際文化学科(IC)1年次生】語学研修<英語> 2単位

企画手配： ピュアカナダ留学センター

・研修のポイント・・・

- ◆**バンクーバーの環境** バンクーバーは13年連続で『世界で最も住みやすい街世界ランキングトップ3(うち8回世界一)』に輝く、自然と都市が共存する美しい都市。特に夏は日本の春の様に爽やかで快適！夜は9時過ぎまで明るく、治安もよく、放課後も有意義に過ごせます。冬季オリンピック開催地として有名です。
- ◆**ILACでの英語研修** ILACは世界70カ国から留学生が集う抜群の国籍比率を誇り、世界中の友達ができます。カナダ最多17レベルに分かれ、英会話を伸ばすメイン授業と選択授業(発音矯正など多彩)で、バランスよく楽しく勉強できます。
- ◆**ILACの講師陣** 優秀な講師陣は全員が四大卒で英語講師の資格(TEFL)を持ち、海外での教師経験があるので楽しく&しっかり学べます。過去9年間龍大からの学生を受け入れています。
- ◆**多彩なアクティビティと、ウィスラー・ビクトリア旅行** 放課後&週末は、市内観光や現地イベントなど多彩なアクティビティを用意(自由参加、有料と無料のもの有)。冬季五輪が行われた世界的スキーリゾート【ウィスラー】、花の都【ビクトリア】へご参加(移動費無料)。このチャンスを逃す手はありません！
- ◆**ボランティア体験** カナダ人と交流の機会が大好評。ボランティア先進国で自分の可能性を広げましょう。
- ◆**滞在方法** 現地の家庭にホームステイ。個室か相部屋(龍谷大生同士)の2タイプから選べます。
- ◆**現地でのサポート** 学校&ピュアカナダ留学センター現地オフィスにそれぞれ日本人スタッフが常駐。フレンドリーで心強いサポート。ピュアカナダ代表者が日本から現地まで同行するのも安心です。(往路)
- ◆**詳しくは写真と体験談で!** 実際に参加した先輩たちの生の声カナダ留学を決意する背中を押してくれるかも!過去の龍大参加者120名以上の感想を確認できます。→→ www.p-u-r-e.net/ryukoku.html

【学部企画】(※国際文化学部/国際学部(IC学科生)対象)



フィリピン セントラサル大学 短期語学研修

《プログラム説明会：2015年4月30日(木) 昼休み 12:25-13:05 和顔館 B202 教室》

学校名： LSLC セント・ラサル大学付属語学学校

日程： 2015年8月9日(日)～2015年9月6日(日) 29日間

研修時間： 113時間 (+オプション授業追加可能)

募集人数： 10名以上20名程度

参加費用： **320,000 円 程度** (語学学校学費・滞在費・食費・航空券代、燃油税込)

認定単位：【国際文化学部生】4単位〔外国語(海外研修)〕

【国際学部国際文化学科(IC)生】語学研修<英語> 4単位

企画手配： ㈱JTB 西日本 京都支店

・・・ 研修のポイント ・・・

◆ フィリピンの環境 フィリピンは各島ごとに言語が異なるため、英語を公用語として使用しています。また留学地のバコロドは、非常に治安が良く、2012年フィリピン住むやすい街 No1 に選ばれました。

◆ フィリピンにおける語学研修

フィリピンではマンツーマンレッスンを主体とし、少人数制(4人～8人)のグループレッスンも行うことで、人前で話すことに自信を持ってもらうようにしています。フィリピン人の英語水準は高く、訛りも少なく、ネイティブ並の英語能力を持っていることが特徴です。

◆ 研修先 LSLC (セント・ラサル大学付属語学学校) とは。

LSLC は正規の大学付属語学学校なので、大学の証明書が発行され、キャンパスの施設を自由に使用することができ、留学最終日には大学からの修了証も発行されます。現地大学生と交流できるのが最大の特徴です。

◆ 語学研修以外

マングローブ植林ボランティアを月1回開催、現地学生と一緒に植林することで自然への価値観を深められます。また非常に物価が安いのでセブ島やボラカイ島などのリゾート地へ旅行することも可能です。

◆ 宿泊寮とホスピタリティー

宿泊先は LSLC 寮。お部屋にはベット・エアコン・扇風機・冷蔵庫・クローゼット・トイレ・シャワーが備わっており、食事も 3 食バイキング形式で提供されます。(外で食事も OK!) 週 2 回お部屋のクリーニングサービスや洗濯サービスも留学費用に含まれております。昨年 10 月に完成した新しい寮です。

◆ 現地でのサポート

現地には日本人女性スタッフが常勤、寮に住み込みで 24 時間サポート体制。

(現地日本人スタッフ BLOG : <http://lslc79.blog.fc2.com/>, twitter : @lslc_ayaka)

【コース企画】(※国際文化学部/国際学部(IC学科生)対象)



国際文化学部地域文化コース企画 タイ研修

担当教員： 三谷先生・カルロス先生

《研修説明会：2015年4月28日(火) 12:25-13:05 和顔館 B202》

日程： 2015年8月23日(日)～2015年9月1日(火) 10日間

研修行先： タイ・アサンブション大学

研修時間： 50時間(文化研修) *現地 44時間文化研修+事前学習合わせて

募集人数： 10名前後(実施可能人数)

参加費用： 約 13万円～15万円 ※空港税・燃油SC含む ※現地での食費約1万円が別途必要です。

認定単位：

【国際文化学部】2単位(国際文化学部地域文化コース主専攻・副専攻)

それ以外のコースは学部基礎2単位、卒業年次生は随意科目認定

【国際学部国際文化学科】2単位(学科基礎科目「世界と日本」入門)での認定

※帰国後に所定の手続きをおこない、上記科目で単位を認定します。

したがって単位認定を希望する学生は、事前に「学科基礎科目「世界と日本」入門」は受講しないでください。

事前に受講し合格した場合、単位認定をおこなうことができなくなります。

企画手配： (株)JTB西日本 京都支店

引率教員： 三谷先生・カルロス先生



・ 研修のポイント ・ ・ ・

◆研修の目的

タイは目覚ましい経済発展を遂げ、それが経済・社会・文化・環境・政治に対して大きな影響を与えています。この研修では、タイについて学び、関心のある課題を各自で選び、その実態及び問題点を把握し、そして自分なりの解決策を考察します。

◆研修の魅力

①研修内容は濃い！講義とフィールド(社会見学)を通してタイについてたっぷり学べる！

❖ 講義(4回) テーマ：タイの社会・経済・文化・宗教およびアジアの中のタイ、講義の使用言語は英語ですが、教員が通訳・解説します。

❖ タイの社会見学(寺院やNGO訪問、バンコク市内とパタヤ市内の見学)

❖ 講義や学生との交流を通して、英語の勉強が可能です。

②タイの大学生と交流できる！

アサンブション大学の学生と一緒に学び、一緒に行動することによって現地の事情がよくわかり、また、友情も生まれます。

講義やフィールドにアサンブション大学の日本ビジネス学科の学生も参加する予定

❖ 寮にも多くのタイ人学生が住んでいます。

❖ アサンブション大学の日本ビジネス学科の学生とパタヤにも同行する予定

③費用は手頃！ 13～15万円(予定)

含まれているもの：飛行機代、研修費、宿泊費(寮、2名1室)、現地の交通費

含まれていないもの：食事代(1日約1,000円)、お土産・買い物代、その他

大学が費用の一部を負担

春期実施プログラム

【学部企画】(※国際文化学部/国際学部(IC学科生)対象)



オーストラリア ビクトリア州 4大学 短期語学研修

大学コンソーシアム京都提供

《プログラム説明会：2015年4月24日(金) 昼休み 12:25-13:05
和顔館 B203 教室》

学校名： ビクトリア州 4大学付属語学学校
日程： 2016年2月13日(土)～2016年3月13日(日) 30日間(4週間)
研修時間： 語学 100時間
募集人数： 10～30名程度
参加費用： 約450,000円 ※別途、空港税・燃油SC要



認定単位：

【国際文化学部生】 外国語(海外研修) 4単位

【国際学部国際文化学科(IC)生】 語学研修<英語> 4単位

企画手配： (株)JTB 西日本 京都支店

※春期(2016年2月)渡航ですが、申込は早期受付(2015/5月末めきり予定)ですのでご注意ください。

・・・ 研修のポイント ・・・

- ◆**メルボルンの環境** 世界一美しい街と言われるメルボルンは、ビクトリア様式と近代的な建築物が織り成す街並みが印象的です。“食の都”とも呼ばれ、グルメをうならせるレストランや小粋なカフェ、おしゃれでハイセンスなショッピングなど、お楽しみは盛りだくさん！
シティから1時間程で大自然に出会え、海と大地のエネルギーを満喫できます。
- ◆**留学先** ビクトリア州4大学付属語学学校(学生が選択します。)
(ディーキン大学・モナッシュ大学・スインバーン工科大学・ビクトリア大学)
- ◆**講義概要・到達目標** 各自のレベルに応じたインターナショナルクラスに入り、様々なテーマやトピックを扱うことにより、読む・書く・聞く・話す・文法に関する英語運用能力を高めることを目標とします。
また、オプションで現地ボランティア活動・現地の学生とのバディプログラムを追加することができます。
- ◆**宿泊先** ホームステイ(1日2食 ※派遣先によって異なる)
オーストラリアはホームステイのメッカです！

【教員企画】 ※国際文化学部/国際学部(GSおよびIC学科生対象)



アメリカ Mount Hood Community College 短期研修

担当教員：タヒューン先生

【研修説明会：※ 2015年後期9月以降 説明会開催予定】

研修先： アメリカ オレゴン州 ポートランド市
MHCC (マウント・フード・コミュニティ・カレッジ)

日程： 2016年2月～3月頃 3週間(予定)
※前回 2015/2/14(土)～3/9(月) 24日間

研修時間： 72時間(語学研修45時間+文化研修27時間)

募集人数： 10名以上(実施可能人数)

参加費用： 未定(370,000円程度) ※別途、空港税・燃油SC約55,000円要

認定単位：

【国際文化学部生】3単位〔外国語(海外研修)〕

【国際学部国際文化学科(IC)1年次生】 語学研修<英語> 2単位

【国際学部国際文化学科(GS)1年次生】 海外研修 4単位

※単位認定方法が異なります。(別途説明あり)

企画手配： (株)JTB 西日本 京都支店

【重要】

◆参加対象： 国際文化学部(2回生以上)、国際学部生(IC・GS)の参加が可能です。
ただし、GS学科生は上限5名までとします。

5名以上応募の場合は語学スコア上位者から選出します。

◆日本学生支援機構より奨学金80,000円支給対象プログラム

※全参加者のうち基準を満たした成績上位者11名に
支給されます。



・・・研修のポイント・・・

◆**ポートランドの環境** アメリカ合衆国オレゴン州の北西部に位置し、ウィラメット川とコロンビア川の合流点に位置するオレゴン州最大の都市、近くにはフード山があり、スキー、フィッシング、キャンプなどが楽しめる場所です。ポートランドにほど近いグレシャムという街に学校(MHCC)はあります。

◆**龍谷大学とのつながり** 1996年夏、タヒューン先生がこの研修の機会を作ったのがきっかけで、2002年より、このプログラムは実施されています。毎年MHCC学生が夏期短期留学で龍谷大学を訪問しており、現地で知り合いになった学生と再び出会い、今も交流を続けている学生も多くなります。

◆**MHCCでの語学研修** 龍谷大学参加学生のためのクローズドクラスになります。現地では、英語の先生に加え、クラス内では、現地アメリカ人学生がヘルパーとして授業に入ってくれるなど、現地学生との交流もあり、海外経験が初めての学生や、英語に自信がない学生も楽しく授業に参加できます。

◆**宿舎** ホームステイでの滞在 1人1家庭(1泊2食付)

短期留学(自己応募)

(※ 国際文化学部/国際学部(IC 学科生)対象)

短期留学(自己応募)は各自で留学先を決定し、龍谷大学に申請する留学方法です。留学対象期間は、龍谷大学が定める夏期休業期間・春期休業期間です。規定に基づき許可された留学は、帰国後、所定の手続きを行った上で、内容に応じて単位認定が可能です。興味のある学生は、説明会に必ず参加して下さい。(制度の詳細は「留学ハンドブック」を参照)

*2015 年度

夏期休業期間：8月6日(水)～9月9日(水)

春期休業期間：2016年2月2日(火)～3月31日(木)

※サマーセッションや追試を受ける学生は、その期間と重ならないよう計画を立てること。

万一、留学期間中に追試を受けなければならない等の事態に陥っても、特別措置は一切取りません。

■ 申込方法：下記書類を提出

- ・ 申請書
- ・ 誓約書
- ・ 推薦書
- ・ 研修計画書

※国際(文化)学部ホームページよりダウンロード可能

■ 提出期限：2015年6月12日(金) 17:15

■ 提出先：国際学部・国際文化学部 留学サポートデスク
(和顔館 1 階グローバル教育推進センター内)

短期留学(自己応募) 手続きの流れ

～出発前～

① 申込み書・留学先情報・専任教員推薦書の提出

② 海外旅行保険に加入

③ 海外旅行保険説明会へ参加

～帰国後～

④ 下記書類を帰国後 10 日以内に提出

・ 修了証(写) ※語学留学のみ・レポート(所定の様式で作成)・アンケート

⑤ 単位認定審査 提出書類を基に審査されます。

⑥ 単位認定

帰国直後の成績配布のタイミングではなく、翌セメスターの成績表に反映されます。

◆短期留学参加者の義務

龍谷大学の制度を利用して留学する学生は、本学が指定する保険に加入する必要があります。

国際学部・国際文化学部生に限り、短期留学する学生の保険料を次の通り龍谷大学が負担します。

- ・短期留学(学部・コース・教員企画)参加者・・・全額
- ・短期留学(自己応募)参加者・・・最大1万円

龍谷大学が規定とする保険基準

補償項目	金額
傷害死亡	2000万円
傷害後遺障害	2000万円
治療・救援費用	3000万円
疾病死亡	1000万円
賠償責任	1億円
携行品損害	20万円
航空機寄託手荷物	10万円
航空機遅延	2万円

